



ハグルーム通信



梅雨が明け、夏本番がやってきました。夏は水遊びやお出かけなど楽しいことがたくさんあると思いますが、厳しい暑さや普段と違う生活リズムで疲れが出やすく、体調不良に繋がりがやすい時期でもあります。適度に休息を取りながら元気に暑さを乗り越えていきましょう！

解熱剤のおはなし



お熱が出ると多くの場合に処方される“解熱鎮痛剤”。ハグルームをご利用している方々から使用方法やタイミングなどについてご質問をいただくことが多くあります。今回は解熱剤について詳しくおはなししていきます。

解熱剤の効果

解熱剤はお熱を一時的に下げ、お熱による不快感を軽減するお薬です。

“熱の症状を治すため”のお薬ではないので効果が切れると再び熱が上がってくることが多いです。

効果のピークは与薬から2～4時間後で、約0.5℃～1.5℃程度の解熱効果があります。

用法用量を守って正しく使用しましょう！



いつ使うべきですか？

解熱剤を使用する目安の体温は薬剤師さんより指示が出ていると思います。

しかし、熱が高いからといってお薬を使わなければならないわけではありません。

高い熱に加え、元気がなくぐったりとしている、食事が摂れない、眠れない

など、熱が生活に支障をきたしている場合には使用してあげましょう。

熱があっても活気があって遊べている、食事や睡眠が摂れているといった場合には

無理に使用せず様子をみても大丈夫です。

坐薬と内服、何が違いますか？

どちらも効果に大きな違いはありません。

坐薬は肛門から挿入できる分、内服が難しい乳児やお薬を飲むのが苦手なお子様、嘔吐をしている場合などでも使用しやすいです。

ハグルーム利用時は持参した方が良いですか？

熱の症状がある際にはお持ちください！

朝は熱がなくても夕方熱が上がって辛そうな子どもたちの姿もよく見受けられます。

少しでも楽に過ごせるよう

お薬があると安心です。





～みんな大好き！お外遊び～



ハグルームでは、病児保育室でも外遊びを楽しめる環境を整えています。

“バルコニー”ってどんなところ？

どんな遊びをしているの？

まだまだ知らない方も多いと思いますので写真でご紹介します！！

※医師の判断で外に出ても体調に問題なく、保護者様のご同意をいただいたお子様が外に出ています。



～安全対策もしっかり行っています～

遊べる範囲は人工芝のところのみ。

日よけタープや帽子も用意し

暑さ対策も行っています



～お砂場セット～

砂遊びもできるよう様々な玩具を用意しています！
車、海の生き物…
お気に入りの玩具を手にしっくり楽しめます★



～滑り台～

滑り台を見ると子どもたちも大喜び！大人気です♪



～シャボン玉～

慣れない場所で緊張気している子どももシャボン玉で笑顔に(*^-^*)

オクラ、ピーマンなどの夏野菜や季節のお花も栽培しています！！

水やりは子どもたちも喜んでお手伝いしてくれます♪

お野菜や虫をじっくり観察することも。

収穫期を迎えた野菜は端っここの部分を使って野菜スタンプなどにして楽しんでいます。

※食べられる部分は職員が美味しくいただいています。



～ハグルームからのお願い～

ハグルームでは『外遊びが子どもたちのストレス軽減や病気の回復に及ぼす影響』というテーマで実践研究を行い、研究結果を全国病児保育協議会主催の研究大会にて発表、共有させていただいております。研究にあたり、個人情報に配慮しながらお子様の体調の記録、唾液を摂取して行うストレスチェックへのご協力依頼をさせていただく場合がございます。お子様への負担がないよう進めていきますので、ご協力いただけますと幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。